

12月定例会



12月定例会では15人の議員が市政に対する一般質問を行いました。

一般質問とは、議員が高山市政全般にわたり、事務執行の状況及び将来に対する方針などについて所信を質すとともに、報告、説明を求め疑問を質すものです。

質問のみで1人40分。質問回数は制限なしとしています。
※反間に要した質問及び答弁の時間は持ち時間に含めない。

質問と答弁がかみ合うことで分かりやすく充実した議論となるよう、原則としてあらかじめ通告しておくこととなっています。

P16右下の二次元コードから高山市議会YouTubeにて各議員の一般質問をご覧いただけます。（タブレット・スマートフォンに対応。通信料は別途発生します。）

「戦国飛騨をゆく」 山城 広瀬城の発掘調査

未来
松山篤夫



問 広瀬城跡の発掘調査の進捗状況と今後の調査計画は。

答 本丸の東側で周辺の山城では例のない大きな川原石を積んだ石積み、本丸では基礎の石が見つかり建物が建っていたことなどが分かった。また、古墳時代の須恵器（すえき）と呼ばれる土器や、戦国時代に中国から輸入された青磁（せいじ）と呼ばれる陶磁器なども出土し、城の構造や時代を検討する上で貴重な情報が得られた。来年度も引き続き発掘調査を行い、調査の成果を令和9年度刊行予定の総合調査報告書にまとめ、その後、国への史跡指定の手続きを進める。



本丸から確認された礎石

高齢者社会における訪問医療と在宅介護

未来
車戸明良



問 訪問医療と在宅介護は、高齢者が「住み慣れた家で自分らしい生活をする」ための不可欠な要素だ。要介護となり通院が困難となった人は、訪問医療に頼らざるを得ない。訪問医療の状況と在宅介護に必要な医療の確保などの状況は。

答 県の保健医療計画によると民間医療機関10件及び国保診療所により、市全域で訪問診療受けることができる体制となっている。市では医療と介護の多職種連携の強化に努めており、医療と介護の事業者間で、患者の身体の状況を共有するシステムも導入している。なお支所地域などの訪問看護サービス者への、休憩所の提供については調整する。

本市におけるLGBTQ施策の戦略的位置づけについて

新政たかやま
戸田柳平



問 全国調査では性的マイノリティは人口の約9%とされ、若い世代は就職先や居住地で多様性への寛容度を重視する傾向が強い。またLGBTQ旅行市場は世界的に巨大で、安全性や受容度の高さが地域選択に直結する。自治体の多様性施策は観光・人材確保・企業誘致にも効果があるとされる中、本市はLGBTQ施策をどのように戦略的位置づけしているか。

答 性の多様性への配慮は人権のみならず、人口減少下での人材確保や都市間競争力の向上につながる要素となり得ると認識している。特に若者が多様性の寛容度を重視する傾向は本市にとって重要である。これまでLGBTQ施策は啓発中心であったが、今後は企業の生産性向上や地域の魅力向上にも資する戦略的施策として、多様性に配慮した環境整備を検討していく。